参考資料４

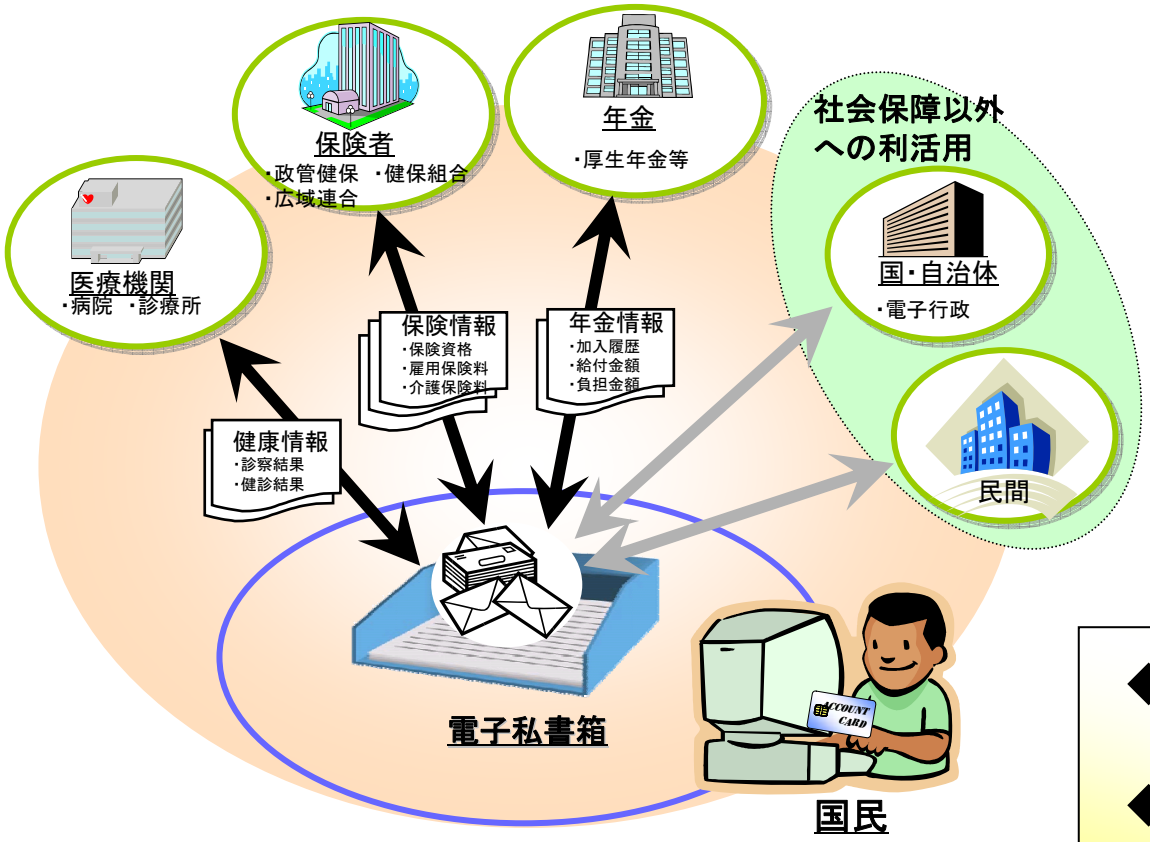
国民視点の社会保障サービス等の実現に向けての電子私書箱（仮称）の創設

医療機関や保険者等に個別管理されている情報を、希望する国民が自ら入手・活用できる仕組みを検討し、2010年頃のサービス開始を目指す。

利活用のイメージ

情報の入手・閲覧
様々な情報を集約し、自分の情報を入手・閲覧

情報の活用
収集・蓄積した情報を、他のサービスに活用



年金の画面例

医療の画面例

◆内閣官房IT担当室に有識者からなる検討会を設置
◆10月29日に第1回検討会を開催
◆今年度末までに基本構想を取りまとめ